

不可逆性パス間温度管理用示温チョーク

シオンクレヨン

シオンクレヨンとは・・・

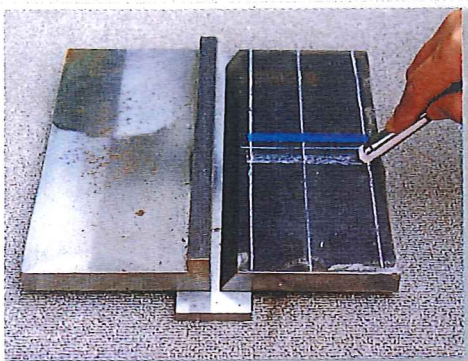
- 1：パス間温度履歴を全数管理できます。
- 2：長期間、変色しないのでいつでも後から確認できます。
- 3：塗って見るだけなので誰でも簡単にできます。
- 4：他の管理方法に比べ、コストがかかりません。

丸ビル
六本木六丁目で採用



※ホルダーは別売りになります。

- 桃色と青色をコンビで塗布して下さい。
 - パス間温度管理のための要員は不要です。
 - 不可逆性の示温材だから管理記録として残ります。
- 1ケース/青色・桃色各6本入り



従来の温度チョークと異なり
シオンクレヨンは常温で塗布します



シオンクレヨンの変色長から
パス間温度の履歴を推定します



詳しい管理方法は別売りの
「パス間温度管理の手びき」を
参照して下さい。

販売店

■総発売元



株式会社

内外コーポレーション

〒134-0081 東京都江戸川区北葛西1-22-19

TEL.03-5674-5321 (代表)

FAX.03-5674-5324

■製造元



日油技研工業株式会社

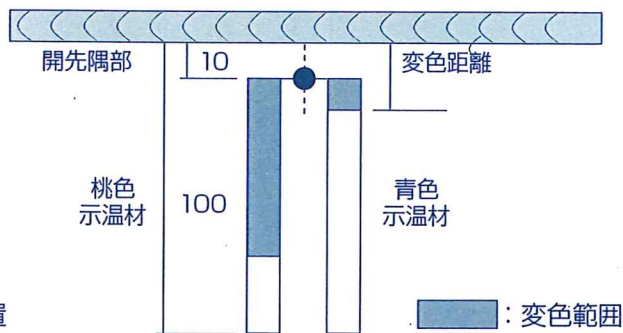
示温材の塗布位置及び変色範囲

溶接施工前



●印：パス間温度測定位置

溶接施工後



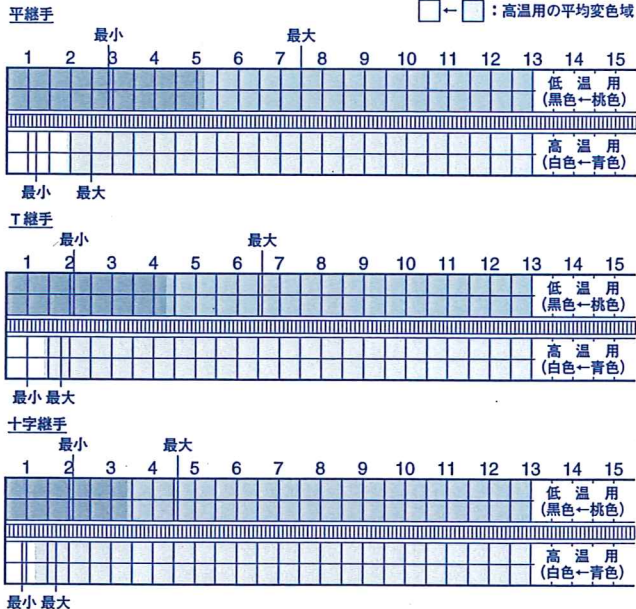
認定書にもパス間温度管理が明記されています



示温材の標準変色域

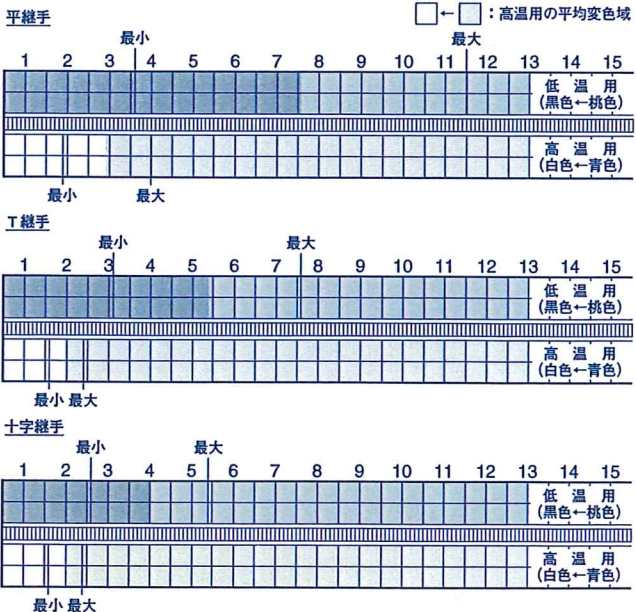
入熱30kJ/cm・パス間温度250°C
(t=12~36mm)

← : 低温用の平均変色域
← : 高温用の平均変色域



入熱40kJ/cm・パス間温度350°C
(t=12~36mm)

← : 低温用の平均変色域
← : 高温用の平均変色域



鋼材の種類と溶接材料

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (Kj/cm)	パス間温度(°C)
400N級鋼	JIS Z 3211,3212	40以下	350以下
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
	JIS Z 3214		
490N級鋼	YGA-50W,50P	40以下	350以下
	JIS Z 3212		
	YGW-11,15		
	YGW-18,19		
520N級鋼	JIS Z 3214	40以下	350以下
	YGA-50W,50P		
520N級鋼	YGW-18,19	30以下	250以下